

令和7年度 横浜平沼高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
1 法令遵守意識の向上、服務規律の徹底	公私を問わず高い倫理意識を求められる公務員として、県民の信頼の確保に向けて不祥事の根絶を目指す。	(ア) 管理職は不祥事防止研修を通じて、職務上、身分上の義務、規律を職員に確認させた。 (イ) グループ主催の各研修（定期試験、熱中症対策、学校推薦型選抜、保護者対応等）を行った。
2 職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	啓発活動及び相談体制の整備によりハラスメント行為を防止する。	(ア) 管理職は不祥事防止研修を通じて、該当事項や業務遂行上の注意点などを職員に確認させた。 (イ) 職員は、会議や研修で丁寧な説明を心掛け、また日頃から積極的に声掛けを行っていた。
3 生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	啓発活動及び相談体制の整備によりわいせつ・セクハラ行為を防止する。	(ア) 担当総括教諭は命の尊重をテーマに職員研修を行い、ゲートキーパーの心構えについて啓発した。 (イ) 職員は、不祥事防止研修動画を視聴し、職員間の声掛けや協力が重要との認識を深めた。
4 体罰、不適切な指導の防止	生徒理解に基づく指導を推進し、体罰・不適切指導を防止する。	(ア) 管理職は不祥事防止研修を通じて、生徒の立場に立った指導・支援について職員に確認させた。 (イ) 職員は授業内での不適切な発言や指導を防ぐため、互いに声を掛け合い防止に努めた。
5 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜の実施と成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る体制と手順を明確にし、事故を防止する。	(ア) 担当グループは成績処理のシーズンごとに手順や注意の徹底を図った。入学者選抜では昨年度の反省事項を生かし、要項を整理した。 (イ) 担当グループでは業務分担を適切に行い、作成・発行の点検手順を整備し、業務を適切に遂行した。
6 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の適切な管理と、情報セキュリティ対策を徹底する。	(ア) 職員は、担当グループから指示どおりに保存や保管に努め、個人情報の管理を徹底していた。 (イ) 管理職は不祥事防止研修を通じて、生徒連絡先の適切な収集方法の確認や誤配付、紛失防止に向けて職員に確認させた。出席簿管理の徹底を指示した。
7 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故、並びに交通違反を未然に防止する。	(ア) 管理職は不祥事防止研修を通じて、アルコールの作用について学ばせ、根絶に向けた心構えを身に付けさせた。 (イ) 職員は啓発資料により飲酒の影響を学び、報道事例から未然防止の心構えを身につけた。
8 業務執行体制の確保等	職員全体で業務の安全で円滑な執行のための体制づくりを進める。	(ア) グループリーダーは、業務の進捗状況を定期的に会議で取り上げ、課題点や問題点を議論することで業務の改善や円滑な遂行を心掛けていた。 (イ) 職員は、グループ業務を適宜振り返り、課題や改善点を見出すよう心掛けていた。

9 財務事務等の 適正執行	私費会計に係るルールを周知し、会計事務を適正に行う。	(ア) 私費担当者は、複数人での検査、確認等の処理を心掛け、また各グループでは協力して、購入物品の精査や計画的な発注等を行っていた。 (イ) 管理職は不祥事防止研修を通じて、適正な私費会計事務を職員に点検させた。また、予算執行における県費、私費の区別について職員に確認させた。
------------------	----------------------------	---

○ 令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題（学校長意見）

取り組むべき行動計画を担当者別に定めたゼロプログラムを実施した結果、当初の目標は概ね達成された。特に課題1, 3, 5については実務担当の職員が企画、実施した職員研修により、取組みを深めることができた。

今年度本校では、出席簿の紛失という個人情報管理上あってはならない不祥事が発生した。保護者説明会を設けて説明し、原因の究明と出席簿管理方法の抜本的な見直しを行った。

令和8年度も令和7年度の各課題について目標達成に向けて継続して取り組み、特に必須5項目及び6の個人情報等の管理については重点的に取り組みたい。